

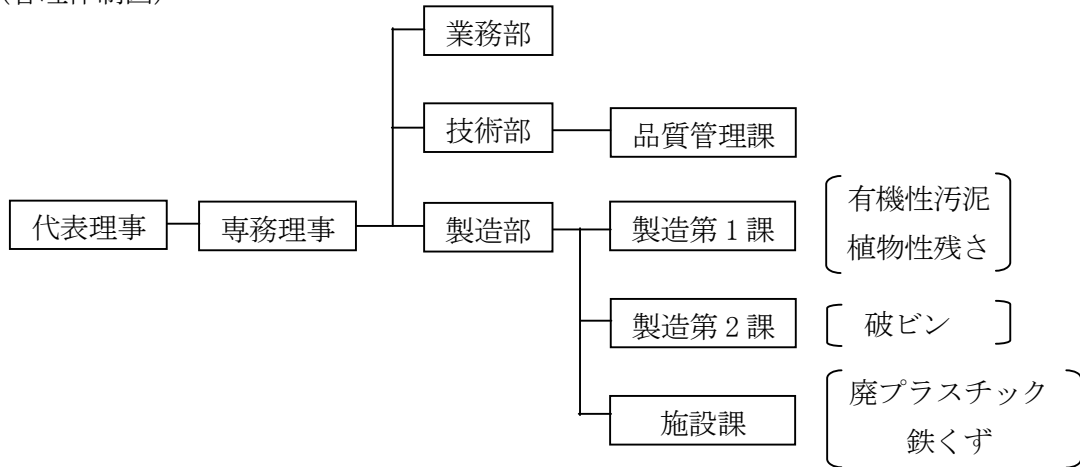
様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書 平成28年6月28日	
大分県知事 広瀬 勝貞 殿	
提出者 住 所 大分県臼杵市大字大野160番外 氏 名 二豊醤油協業組合 代表理事 渡邊規生 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0972-62-3108	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	二豊醤油協業組合
事業場の所在地	大分県臼杵市大字大野160番外
計画期間	平成28年4月 ~ 平成29年3月
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	食料品製造業
②事業の規模	13.41億円
③従業員数	50名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	有機性汚泥 → 処理業者へ処理委託 → 堆肥化 → 肥料 植物性残さ → 再生利用業者へ処理委託 → 飼料 プラスチック → 処理業者へ処理委託 → プラスチック原材料 鉄くず → 処理業者へ処理委託 → 鉄原材料 破ビン → 処理業者へ処理委託 → 埋め立て

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（平成27年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥	
	排出量	4171.2 t	t
	(これまでに実施した取組) ・設備の安定管理 ・排水処理への更なる原水水質低減		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥	
	排出量	4000 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・専用設備で分別処理
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・現状維持

## (第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（平成27年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（平成27年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	3665.7 t	t
	(これまでに実施した取組) 汚泥脱水設備の導入		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	3520 t	t
	(今後実施する予定の取組) 汚泥脱水設備の運転管理方法の検討		

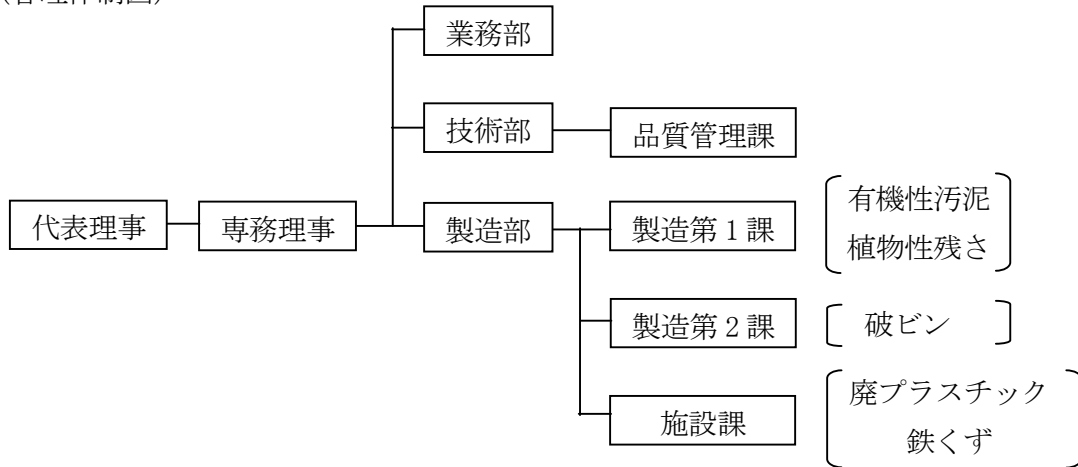
## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（平成27年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（平成27年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥	
	全処理委託量	505.5 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	17.9 t	t
	再生利用業者への処理委託量	505.5 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥	
	全処理委託量	480 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	20 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	480 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（平成27年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	植物性残さ	
	排出量	589.6 t	t
	(これまでに実施した取組)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年1月から処理委託を始めた為、昨年度より増量した。一部濾過残渣が発生しているが、濾過残渣を再濾過し、製品に回収することにより減量化する改善のテストを実施</li> </ul>			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	植物性残さ	
	排出量	280 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>減量化テスト結果が良好だった為、その改善を実施する。</li> </ul>			

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・専用タンクで分別処理
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・現状維持

## (第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（平成27年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	植物性残さ	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	植物性残さ	
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（平成27年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	植物性残さ	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	植物性残さ	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## (第4面)

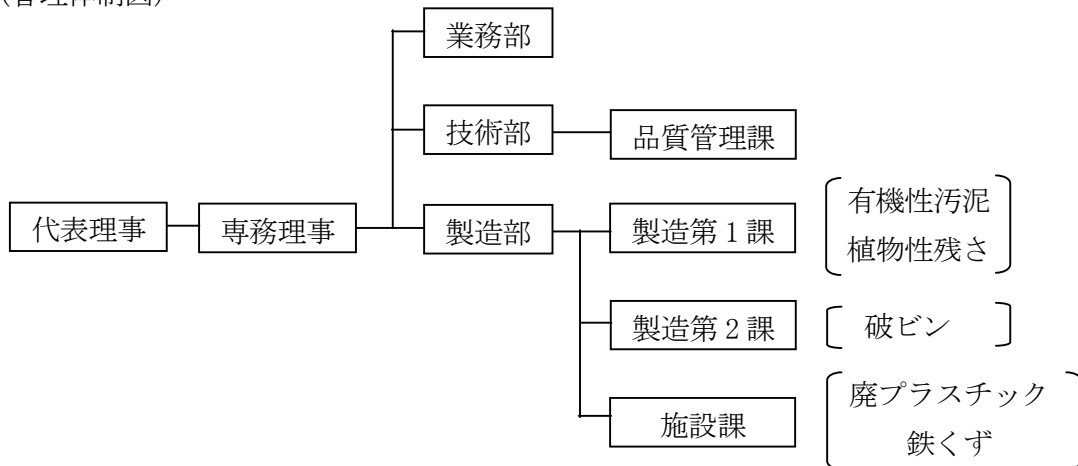
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（平成27年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	植物性残さ	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	植物性残さ	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（平成27年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	植物性残さ	
	全処理委託量	589.6 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	73.3 t	t
	再生利用業者への処理委託量	570.4 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>一部廃棄していたが、全量飼料化することができた</li> </ul>			



②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	植物性残さ	
	全処理委託量	280 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	280 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（平成27年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	鉄くず	プラスチック
	排出量	14.1 t	1.2 t
	(これまでに実施した取組) ・ステンレス設備への計画的更新		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	鉄くず	プラスチック
	排出量	30 t	5 t
	(今後実施する予定の取組) ・工場内には旧設備が残っており、食品工場として衛生面で問題がある為、撤去工事を引き続き行う。増加の可能性が高い。		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・専用ヤードで分別
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・現状維持

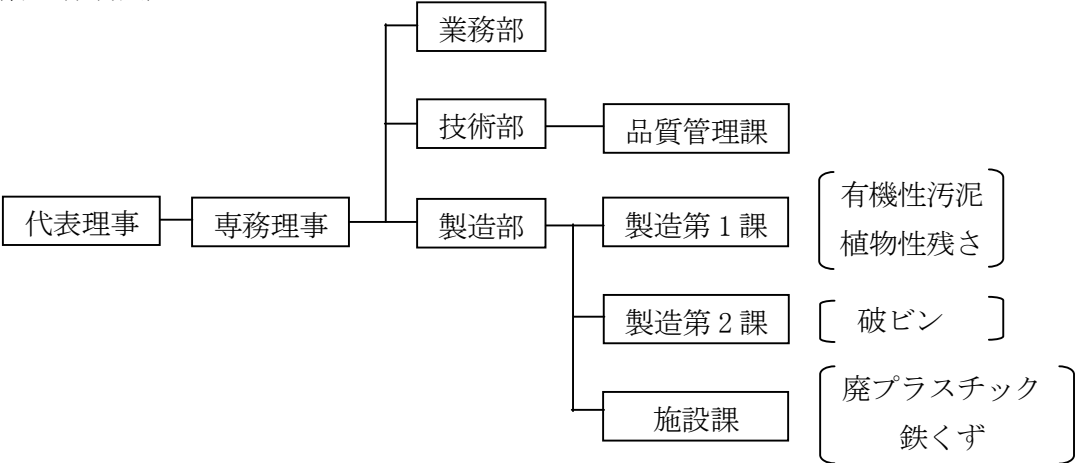
## (第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（平成27年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	鉄くず	プラスチック
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	鉄くず	プラスチック
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（平成27年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	鉄くず	プラスチック
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】平成27年4月～平成28年3月		
	産業廃棄物の種類	鉄くず	プラスチック
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（平成26年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	鉄くず	プラスチック
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	鉄くず	プラスチック
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（平成26年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	鉄くず	プラスチック
	全処理委託量	14.2 t	1.2 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	t
	再生利用業者への処理委託量	14.2 t	1.2 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	鉄くず	プラスチック
	全処理委託量	30 t	5 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	30 t	5 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		
(管理体制図)		
		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		
①現状	【前年度（平成27年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	破ビン
	排出量	0.6 t t
	(これまでに実施した取組) ・ 瓶洗浄機の保守及び移設	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	破ビン
	排出量	0.5 t t
	(今後実施する予定の取組) ・ ガラス製品の取扱い注意の徹底	
産業廃棄物の分別に関する事項		
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 専用ヤードで分別	
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 現状維持	

## (第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（平成26年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	破ビン	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	破ビン	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（平成26年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	破ビン	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】平成27年4月～平成28年3月		
	産業廃棄物の種類	破ビン	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（平成26年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	破ビン	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	破ビン	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（平成26年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	破ビン	
	全処理委託量	0.6 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		



②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	破ビン	
	全処理委託量	0.5 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。